

国立療養所 奄美和光園

基本理念 <私たちは、入居者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り豊かな自然環境にまつまれた穏やかな心豊かな療養生活と安全で安心できる医療を提供します。>

病院紹介

昭和18年4月厚生省告138号によって「奄美和光園」が開園しました。

当園は、本土(鹿児島)より南へ約380キロ離れた奄美群島の中で唯一の国立医療機関であり、故郷を遠く離れて入所しておられる人の多い本土のハンセン療養所と異なり、入所者の殆どが地元の奄美群島出身の方々に占められている特徴があります。昭和58年より保険診療による一般外来が開設され、医師数の問題から一時休診の時期もあったが、平成25年度より和光園の将来構想として一般皮膚科入院制度を開始し、現在は島内で唯一の皮膚科専門医がいることで島内に広く知られています。入院制度に伴い薬剤管理指導及び指導料の算定を開始しました。現在、入所者の高齢化が進み平均年齢87歳となっており、入所者をご自分で自活して生活できなくなりつつあります。高齢化に伴い、認知症や理解度の低下も進み服用薬の自己管理等が難しい入所者も増えつつあります。誤薬のリスク軽減目的で病棟や不自由者棟にて与薬カートを導入し、ほぼ全ての入所者に対して薬剤科が与薬カートへの薬剤セットと与薬シートの作成を行っております。看護部門等と協力し、入所者が適正な薬物療法が受けられるように支援を行っております。

また、全国のハンセン病療養施設で唯一日本医療評価機構の一般病院1機能種別版評価項目3rdG:Ver2.0の認定基準を達成しております。

【施設概要】2023.8.1現在(データはR4年度実績)

1. 所在地 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
2. 特徴 国立療養所 ハンセン施設
一般病院1機能種別版評価項目3rdG:Ver2.0
3. 診療科 診療科
【内科系】皮膚科・内科
(診療援助により、泌尿器科・歯科・耳鼻科・眼科・神経内科・
消化器内科・呼吸器内科)
病床数 122床(一般);病棟
4. 薬剤師数(定数:2名) 薬剤科長1名、薬剤師1名
5. 主な業務
(ア)調剤 入院1,108枚/年、外来2,560枚/年(院外処方率97.6%)
(イ)注射 入院373枚/年、外来78枚/年
(ウ)薬剤管理指導件数 0件/年(0件/月)(皮膚科入院患者がいなかったため)
(エ)チーム活動 ICT(加算なし)、NST(加算なし)
6. 特徴的な業務 注射薬無菌調製、与薬カートへの薬剤セットと与薬シート作成
外来患者指導(対象;皮膚科患者)

7. R5年度の取り組み

ジェネリック医薬品の更なる採用と使用の推進
ワークライフバランスの徹底

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	×
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	×
軟膏調剤・製剤機	○

【令和5年度奄美和光園の組織目標】

1. 入所者の生活意欲の向上に向けた取り組み
2. 感染対策
3. 看護体制の見直し
4. ハラスメントのない職場づくり
5. 80周年記念行事
6. ワークライフバランスの推進

【令和5年度薬剤科の目標】

1. 入所者への安全安心な医療の提供
2. 80周年記念行事への参画
3. チーム医療に貢献する
4. 職員間のコミュニケーション
5. ワークライフバランスの推進
6. コスト意識
7. 入所者とのコミュニケーション
8. 医療安全
9. 自己研鑽